





## 3/24 (木) 立山黒部ジオパーク保全部会

3月24日(木) 第4回保全部会がサンシップとやまで開催されました。

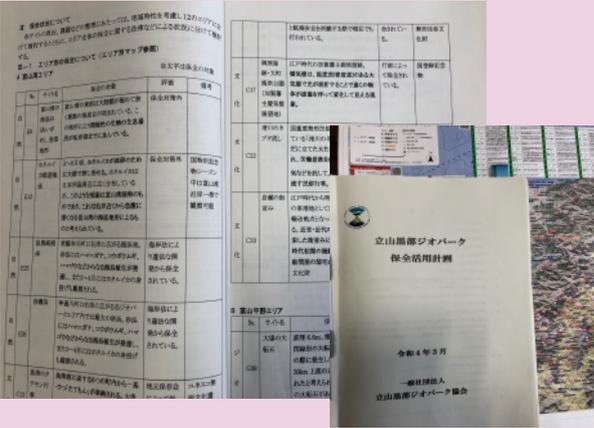
鍛冶哲郎部会長をはじめ富山県や支援自治体、富山県ナチュラリスト協会など14名の部会員が参加し、立山黒部ジオパーク保全活用計画(案)とサイトのモニタリング調査ガイドライン(案)などについて審議しました。

サイトの保全と活用は、JGNの認定の際に重きを置かれる活動評価ポイントであり、昨年の再認定調査でも「緊急に解決すべき課題」になっています。



協議の中で、立山黒部ジオパークの保全については「ただ守るという物理的な保全ではなく、活用も含めて保全であるというスタンスで住民の意識の醸成を目指す」ということを確認しました。

またモニタリングについても、「被害などがあれば情報として自治体はその状況を把握できるが、サイトとして認識がないと来訪者や現地の人のモニタリングは難しい。しかし、人の目に触れて初めて保全の状況を確認できることを踏まえると、巨大な岩からデリケートな文化財的なものまで109箇所にも及ぶサイトがある中で、定期的に見ていかなくてはならない箇所をきちんとピックアップすることも必要である。ジオパークサイトに関係している場所かどうかは、来訪者や住民は分からないので、看板を立てたり日々活用をしたりして、地域の人が普段の活動の中でモニタリングの意識を高め実施していければよい」との意見を頂きました。協会事務局でも、ジオガイドの研修の中で、サイトや保護・保全の意味や活用について説明し、意識を広げていきたいと考えています。



また、協会事務局から109サイトの他に準サイトが193箇所、ビューポイントが51箇所あること、そのマップを作成中であること、現在のサイトマップをデータ化しホームページ上で見ることができるよう作業が進んでいることを報告しました。

今回の部会で協議事項は了承されました。今後も部会で定期的に保全計画を見直し、自治体や住民、関係団体と協力して地元との連携を図りながら、モニタリング調査を進めていきます。

## 3/19 (土) ガイド交流会

糸魚川ジオパークからの呼びかけでガイド交流会に参加しました。新潟県内3地域のジオパークガイドが、共通のテーマについて意見交換することにより、ガイド力向上と親睦を深めることを目的としており、糸魚川、佐渡、苗場山麓、立山黒部の4つのジオパークがZOOMで参加しました。

まず「日本列島の生い立ちの中で見るジオパークのガイドネタ」として 竹之内 耕フォッサマグナミュージアム館長が、ジオパークの魅力伝えるガイドの心得についてお話しされました。

### <伝えることの基本>

- ① そのテーマについてよく知っておく
- ② 分かりやすく伝えるための物語をつくる
- ③ 分かりやすく伝えるため単純化し、話は短くする
- ④ 科学的な裏付けをきちんともつ

後半は、ワークショップで「ストーリーから探るジオサイトの魅力」として、ジオサイトの紹介カルテを作成。立山黒部ジオパークからは、6人が参加。呉羽山礫層や称名滝など4サイトについて、より分かりやすいサイトカルテの内容になるよう話し合いました。情報量や見方が異なるガイド同士で意見交換をすることで、内容が精査され充実していくことを感じました。

また他の3つのジオパークの紹介カルテや意見交換から、ガイドの皆さんがサイトの魅力を伝えようと熱心に勉強し、意欲的にツアーを計画・実施していらっしゃる事が伝わってきました。

立山黒部ジオパークでもジオパークの宝物を知る・楽しむツーリズムを一層充実させて、住民の皆さんに「ジオ散歩」などを楽しんでいただけたらいいなと思います。

## 3/9 (土) SNS担当者オンライン交流会

ジオパークにおけるFacebook、Twitter、InstagramなどSNSの情報発信担当で、意見交流会を行いました。その様子について広報啓発部会の伊関さんからの報告です。

ジオパークでのSNS活用について他のジオパークさんはどうしているのか？また、単純に他のジオパークさんとお話してみたいと思い、こちらからTwitterで呼びかけたところ、筑波山麓地域、三陸、ゆげわジオパークのSNS担当者が集まりました。

当日まで名前や年齢、どういったことをしているのか何も知らなかったのが、うまくいか不安でしたが、みなさんざっくばらんにお話をされて、それぞれのSNSの発信の内容や、頻度、担当者などについて意見交換することができました。

ジオパークさんごとにSNSの活用には、ひと工夫されていて立山黒部ジオパークにとっても参考となるお話がたくさん聞けました。

一般の会員でも他のジオパークさんと交流できるんだという実例を作れてよかったです。

また、やりたいとの声も聞けたので第2回も計画できたらいいなと思います。



\*\*\*\*\*



# お知らせ

## \* ESD 講演会「持続可能な地域づくりの担い手を育む教育」の動画を公開しました

令和4年1月22日(土)に大正大学 浦崎太郎教授をお招きしご講演いただいた表題の件について、YouTube上に講演動画を公開いたしました。

講演の演題は、『学校教育と立山黒部ジオパークとの接続』一新学習指導要領が描く世界(小学校から高校へ)一です。浦崎先生にも編集のお手伝いをいただき、講演動画は実践例ごとにまとまっており、全体で9本になります。どれも、学校教育の中で、学習者視点に立って自分の興味・関心を尊重した学び方、小中学校での総合的な学習の時間、高校の探究の時間におけるカリキュラムの編成の仕方について、よいヒントになっています。

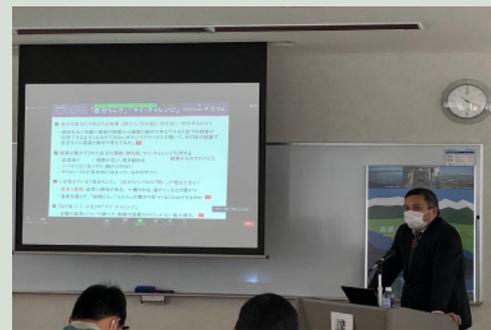
動画は、立山黒部ジオパークのホームページの「映像ライブラリー」からご覧になることができます。

下記URL・QRコードにアクセスしていただき、動画をご覧ください。

【URL】

<https://tatekuro.jp/enjoy/videoLibrary>

「宝物を未来につなぐ」をキーワードに、ジオパークを活用した教育の内容や方法、社会教育、地域との連携について、皆さんと一緒に考え、実践できる場を作りたいです。



←YouTube

↑HP

## \*2拠点施設 新装オープン! \*1協力施設 春のイベントスタート!

### 魚津水族館

館内の改修のため、休館中だった魚津水族館。

3階のバックヤードコーナーやキッズコーナーを親子でふれあえる体験型コーナーに改修しました。

【バックヤードコーナー】富山湾大水槽の上部にネット遊具を設置!(おそらく日本初!)ネットの上から水面近くの魚の様子を、潜望鏡では水中の魚の様子を観察できます。自転車をこいで発電して起きた水流に、魚が逆らって泳ぐ姿が観察できる【キッズコーナー】もあります。

子供たちが喜ぶ体験がいっぱいです。



### 黒部市吉田科学館

吉田科学館も改修工事がおわり、新しい展示が加わりました。

常設展示として、黒部市出身の鉱物学者の下坂康哉氏より寄贈された、**鉱物・岩石標本を新設**します。展示する標本は、紫水晶やカンラン石、方解石、ジルコンなど計37点です。特に、マラウイ産のジルコンは、長径3cmほどにおよぶ大きさです。ジルコンは昨年12月に新しい誕生石として指定されたことで話題にもなりました。本展示では、鉱物や岩石について、色や形を観察して楽しめるほか、名前を知る機会にもなります。

◇下坂康哉氏について

黒部市立石田小学校出身の鉱物学者。東京教育大学修士、助手を経て、地質調査所に移籍。日本、フィリピン、トルコなど、世界各地で鉱物の調査研究を行う。セピオライトの研究で学位取得。教育で役立ててほしいと考え、世界中で収集した岩石・鉱物のコレクションを黒部市に寄贈されました。



### ほたるいかミュージアム

富山湾の春の風物詩「ホタルイカ」の身投げや観光船のニュースが聞かれる頃となりました。ミュージアムでは、**ホタルイカ発光ショー**が始まりました。

今年は予約無しでご入館いただけますが、コロナ感染予防対策へのご協力をお願いいたします

<https://hotaruikamuseum.com/14012>



他の拠点施設でも、イベントが計画されています。各拠点施設のホームページやSNSをチェックしてみてください!



立山黒部ジオパーク  
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



## 小竹貝塚 日本海側最大級の貝塚

富山平野エリア（富山市）

小竹貝塚は、県の中央に位置する呉羽丘陵の北端で、その北に広がる射水平野との接点にあり、縄文時代前期後半（約 6,000 年前）を中心に 500 年間営まれました。その頃は縄文海進の影響で貝塚のすぐそばまで海水と淡水が入り混じった潟湖が広がっていました。大半をヤマトシジミで占められた貝層の厚さは 2 m を超え、日本海側最大級といわれています。

また、ここから縄文時代前期としては全国最多となる 91 体の埋葬人骨が出土しました。埋葬の形は、手足を折り曲げた屈葬が大半で、体を伸ばした伸展葬が 1 体、この他、新生児を埋葬した土器棺葬があり、人骨は青年期（10 代後半～ 20 代）が最も多く発見されています。この他、木製品や骨角器などの遺物が非常に良好な状態で出土し、通年定住型の集落であったことがわかっています。

小竹貝塚は、立山黒部ジオパークの文化サイトになっています。

<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=101>



## ■ 協会会員企業の紹介

立山黒部ジオパーク協会の会員企業を、五十音順（昇順、降順）でご紹介しています。



株式会社 ハマオカ 海の幸



立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。特に、オンラインの事業や動画編集等について得意な方を探しています。

興味のある方は、立山黒部ジオパークのホームページをご覧ください。また、立山黒部ジオパーク協会（076-431-2089）までお問い合わせください。



**立山黒部ジオパーク**  
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



**<編集後記>** 写真展や新規ジオガイド講習、ホームページの改修などいくつかの事業が現在進行形で行われています。新規ジオガイド講習では、新しいことを学びたくさんの人にジオパークの魅力を伝えていきたいという、受講者の熱い思いが伝わってきます。新しいことにチャレンジすることは緊張しますが、楽しさがエネルギーになって、ワクワクします。4月。皆さんは、何か新しいチャレンジを計画していますか？立山黒部ジオパーク事務局も、写真展は初めてのチャレンジ。なかなか大変ですが、ジオパークを広く知っていただくこと、仲間が増えていくことを願って準備に取り組んでいます。写真展が皆さんのワクワクと新しい仲間づくりのきっかけになりますように！！会場でお待ちしています。